

柴田学区 津波ハザードマップ

(千年に一度あるいはそれよりもっと発生頻度が低い、仮に発生すれば甚大な被害をもたらす地震を想定したものです。)

最大浸水深

- 2.0m以上
～3.0m未満
- 1.5m以上
～2.0m未満
- 1.0m以上
～1.5m未満
- 0.5m以上
～1.0m未満
- 0.3m以上
～0.5m未満
- 0.3m未満
- 浸水なし

津波避難のポイント

- 1. 徒歩で避難を**
原則、車で避難しない。車での避難は渋滞を引き起こし、かえって避難の妨げになる。
- 2. 海岸や川沿いには近づかない**
地震の後は、護岸や堤防が被害を受けている可能性があり非常に危険なので決して近寄らない。
- 3. 寄り道はしない**
津波からの避難は一刻を争うため、家のことを心配して引き返したり、貴重品などを取りに戻ったりせず、周囲に声をかけながらまっすぐ避難先に向かう。

気を付けて!(地震編)

- 1. 空き家**
耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険がある。
- 2. 古い(高い)ブロック塀**
大きな地震では倒壊する危険があるためすぐ離れる。近づかない。
- 3. 狭い道**
近くの家が倒壊した時、道がふさがれて通れなくなる可能性がある。
- 4. 電線**
切れた電線は停電時でも感電の危険がある。近づかない。
- 5. 瓦屋根**
大きな揺れの際には瓦の落下危険がある。瓦屋根のある家屋に住んでいる方は、あわてて外に飛び出さない。

凡例

指定避難所		指定緊急避難場所(津波避難ビル)	
地下式給水栓		広域避難場所	
応急給水施設		地域防災協力事業所	
公衆電話		下水道直結式トイレマンホール	

情報収集収集方法①

- 1. きずなネット防災情報**
地震や大雨などによる災害時の避難に関する情報などを携帯電話にメールでお知らせします。
m.saiwai@ced.jpへ
空メールして登録!
- 2. 名古屋市水防情報システム(NICOS)**
名古屋市内及び周辺部の雨量や河川水位の状況などを確認することが出来ます。
パソコンやスマートフォンで…
名古屋市水防情報システムを検索!
- 3. 災害用伝言ダイヤル 171**
災害時には以下の番号で被災地の人へ伝言が送れます。
171+1+相手の電話番号
伝言を録音(30秒以内)
171+2+相手の電話番号
伝言が再生
※場合も通話料や通話料がかかる場合があります。

!! 注意 !!

自分が被災した場合は

『伝言を録音』

171+1+自分の電話番号

『伝言を再生』

171+2+自分の電話番号

指定緊急避難場所(津波避難ビル)

No	施設名	建物階数
①	柴田小学校(北校舎棟)	3階
②	大同大学滝春校舎 A棟本部	14階
③	大同大学滝春校舎 B棟第一講義棟	4階
④	大同大学滝春校舎 S棟第三講義・実験棟	6階
⑤	滝春荘	10階
⑥	柴田荘 1棟	8階
⑦	柴田荘 2棟	10階
⑧	柴田荘 3棟	7階
⑨	柴田荘 4棟	8階
⑩	柴田荘 5棟	5階
⑪	柴田水処理センター(水処理施設上屋・地元利用施設)	—
⑫	中岡ビル	4階
⑬	パークサイド幹	7階
⑭	だいでうクリニック	5階
⑮	ナンカイビル	4階
⑯	南海ビル	4階
⑰	大同大学白水校舎 4号館	4階
⑱	大同大学白水校舎 8号館	5階
⑲	トーエネック教育センタークリエイティブホール	11階
⑳	白水公園ハイツ	9階

非常持出品の準備

いざという時に持ち出せるよう、非常持出品を準備しておきましょう。

【備蓄品の例】災害に備えて用意しておきたいもの

- 7日分程度用意しましょう
- 命をつなぐために用意しておきたいもの
 - 保存がきく食品(自分が食べやすいもの)
 - 常備薬(持病の薬を含む)
 - 飲料水(ペットボトル)
 - 1人1日3リットルが目安です。また、水分の多い食品(ゼリーなど)と組み合わせることによって量を減らすことができます。
 - 防災用品
 - 給水用のポリ容器・バケツ
 - ロープ
 - バール
 - のこぎり・工具など
 - 寝具等
 - 毛布
 - 寝袋
 - キャンプ用テント
 - 燃料
 - カセットコンロ(予備のボンベ含む)
 - 固形燃料
 - 便利用品
 - ドライシャンプー

非常持出品の例

- 防災用品
 - 携帯ラジオ
 - ヘルメット・防災ずきん
 - 軍手
 - マスク
- 貴重品
 - 現金(小銭も必要)
 - 預(貯)金通帳の写し
 - 健康保険証・免許証の写し
 - カード類
 - 防犯・印鑑など
- 衣料品
 - 衣類(着替え)
 - タオル(大小2種類)
- 照明等
 - 懐中電灯(電池含む)
 - マッチ・ライター
- 医薬品
 - 三角巾
 - 色帯・ガーゼ
 - ばんそうこう
 - 消毒薬
 - ウェットティッシュ(ティッシュ)
 - お薬手帳
- 食器類
 - はし・スプーン
 - 紙皿・紙コップ
- 便利用品
 - 筆記用具
 - 新聞紙
 - 携帯トイレ
 - ゴミ袋
 - キッチン用ラップ
 - 使い捨てカイロ
 - 雨具
 - 手動携帯電話充電器
- その他(個人的に必要なもの)
 - 粉ミルク・生理用品
 - 紙おむつ・予備のメガネ・補聴器など



柴田学区の災害リスク

世帯：2,218 世帯 人口：4,403 人 面積：1,020 km²

南海トラフ巨大地震は30年以内に発生する確率が**70～80%**といわれています。柴田学区は津波の浸水が想定される地域です。名古屋港への津波到達時間は最短で**96分**と予測されており、津波の遡上はその後から始まります。この時間を最大限に使い、みんなで助け合い避難しましょう。

災害の種類	程度
震度	6強
液状化の可能性	大
津波の浸水深	2.0m～3.0m
津波の浸水開始時間	120分～

もし南海トラフ巨大地震が発生したら…



①地震発生！まずは身の安全を確保

- ☐ 頭を守り、家具やガラスから離れる



②揺れが収まったら火の始末



しっかり火の始末で火災阻止！

- ☐ 台所やストーブ、ろうそくなどの火の始末をする
- ☐ 避難をする際にはブレーカーを落とし、水道とガスの元栓を閉める

火が出たらすぐに初期消火！

- ☐ 「火事だ！」と大声で叫び、隣近所に知らせる
- ☐ 119番に通報して、消火器や水バケツなどにより初期消火

③我が家の安全確認！

- ☐ ガラス片やとがった物が散乱しているため、靴やスリッパを履く

あわてて外に飛び出さない！

- ☐ むやみに外に出るのは危険
- ☐ 周囲の状況を良く確かめて、落ち着いて行動する

出口の確保をする！

- ☐ 余震や火災に備え、まずは出口を確保する

正しい情報で行動する

- ☐ テレビやスマートフォン、ラジオなどを使って正しい情報を収集する
- ☐ 報道機関や市役所、消防署、警察からの情報に注意する
- ☐ 災害時はデマなどに惑わされやすくなるので注意する

④大津波警報発表！避難勧告発令！



地域で助け合い

- ☐ 町内会で安否確認を実施する
- ☐ 地域で連携し、倒壊家屋や転倒家具の下敷きになっている人を救出する
- ☐ 火が出ていれば、可能な範囲で初期消火活動をする

緊急避難開始！

- ☐ ひとりでは避難が難しい方などの避難誘導をする
- ☐ 原則徒歩で避難する
- ☐ 非常持出品を携行する

浸水想定区域外や津波避難ビルなど高い建物へ避難

